

Qualification + テスター ネットワークサービス アシスタント



ハイレベルサポートの概要

- Certi-Lite**
 Certi-Liteは、CAT3からCAT6AまでのシングルエンドのANSI/TIA-1152-A準拠のチャンネルテストを提供し、合格/不合格を明確に示し、詳細なテストレポートを提供します。
- 光損失とOTDR**
 シングルモードとマルチモードのループバック光損失テストをサポートし、ハイブリッド電源ファイバーを使用する場合、電気導体上の電圧も同時にテストします。OTDRアダプタは、技術者が壊れたファイバーやその他の損失イベントの位置を容易に特定できるようにし、光損失テストに失敗する原因を特定します。
- マルチギガビットリンクスピード**
 1/2.5/5/10GBASE-Tのケーブルリンク速度を検証します。エンド・ツー・エンドの信号対雑音比(SNR)測定は、同時トラフィックおよびPoE負荷条件下でのリンクパフォーマンスを迅速かつ客観的に評価します。
- パワーオーバーイーサネット (PoE)**
 PSEでのPoE設定を包括的にテストし、PDジャックでの電流、消費電力、電圧を報告します。PSEとのPD否認をエミュレートし、802.3af/at/btおよびUPoEをサポートします。外部負荷ボックスを使用した持続的な負荷テストでは、電力を「ダイヤルアップ」できます。
- 有線ネットワーク接続テスト**
 ネットワークの検出では、デバイスの詳細まで掘り下げ、接続されたすべてのデバイスを自動検出します。スイッチの詳細には、スロット/ポート/VLAN、スイッチ名、製造元/モデル、ポートの機能、MAC/IPv4/IPv6およびVLANの使用状況の詳細が含まれます。ネットワークディスカバリーは、接続されたデバイスを明らかにし、詳細な調査およびトラブルシューティングのための掘り下げ機能を提供します。トラブルシューティングキットには、トレースルート、ping、トーンジェネレータなどが含まれます。
- Wi-Fiテスト**
 すべてのアクセスポイント(AP)とそれらのSSID、RSSI(受信電力レベル)、およびチャンネルを検出します。APIにログインして接続を確認します。厄介なデッドゾーンを特定するのに役立つローミング信号強度も提供します。トラブルシューティングツールキットには、トレースルート、pingなどが含まれています。
- 高度なリンク識別 (ALI) (ALI)**
 AEMIは、Certi-Lite対応の番号付きリモートIDを使用して、リンク識別をさらに進化させます。標準的なリモートIDが単に1、2、3などに接続されているかどうかを示すのとは異なり、AEMIのリモートIDはスマートであり、Certi-Liteをサポートできる能力を備えています。

多機能ケーブル認証テスター TestPro (CV100)



ハイレベルサポートの概要

- メタル認証:**
 CAT5e - CAT8までを認証し、ネットワーク準拠性を最大40Gbpsのイーサネットまで表示します。
- 光ファイバー認証:**
 デュアル波長の損失と長さ測定により、マルチモードとシングルモードのTier 1認証を提供し、ハイブリッドパワードファイバーの電圧・抵抗測定も行います。これにより、100GBASE-LR4、40GBASE-LR4、ファイバーチャネルなどのファイバーネットワークの準拠性を確認します。
- OTDR:**
 マルチモードおよびシングルモードのOTDRアダプタは、切断されたファイバーや損失を引き起こすイベントまでの距離を特定し、光損失テスト中の問題を解決します。これにより、Tier-2ファイバーオプティック認証が提供されます。
- マルチギガビットリンク速度テスト:**
 1/2.5/5GBASE-Tのケーブルリンク速度を検証します。エンド・ツー・エンドの信号対雑音比(SNR)測定により、同時トラフィックとPoE負荷条件下でのリンクパフォーマンスを迅速に評価します。
- シングルペアーイーサネット (SPE):**
 SPEケーブル規格をサポートし、最大1800mまでのテスト機能を提供します。
- Power Over Ethernet (PoE):**
 包括的なテスト機能は、PSEでのPoE構成を検証し、PDジャックでの電流/ワット数/電圧を報告します。PSEとPD間でPD否定をエミュレートし、802.3af/at/btおよびUPoEをサポートします。電力を「ダイヤルアップ」できる外部負荷ボックスを使用した持続負荷テストも行います。
- 有線ネットワーク接続テスト:**
 ネットワークの検出では、接続されているすべてのデバイスの詳細が表示され、スイッチのスロット、ポート、VLANの情報が含まれます。スイッチの名前、製造元、モデル、ポート機能、MAC、IPv4/IPv6、VLAN使用状況も確認できます。これにより、さらなる調査やトラブルシューティングが可能になります。トラブルシューティングキットには、トレースルート、ピンク、トーンジェネレータなどが含まれています。
- ワイヤレスネットワーク接続テスト:**
 すべてのアクセスポイント(AP)、SSID、RSSI(受信電力レベル)、チャンネルを発見し、APIにログインして接続を確認します。ローミング時の信号強度を使ってデッドゾーンを特定できます。トラブルシューティングツールキットには、トレースルートやPingなどが含まれています。

